

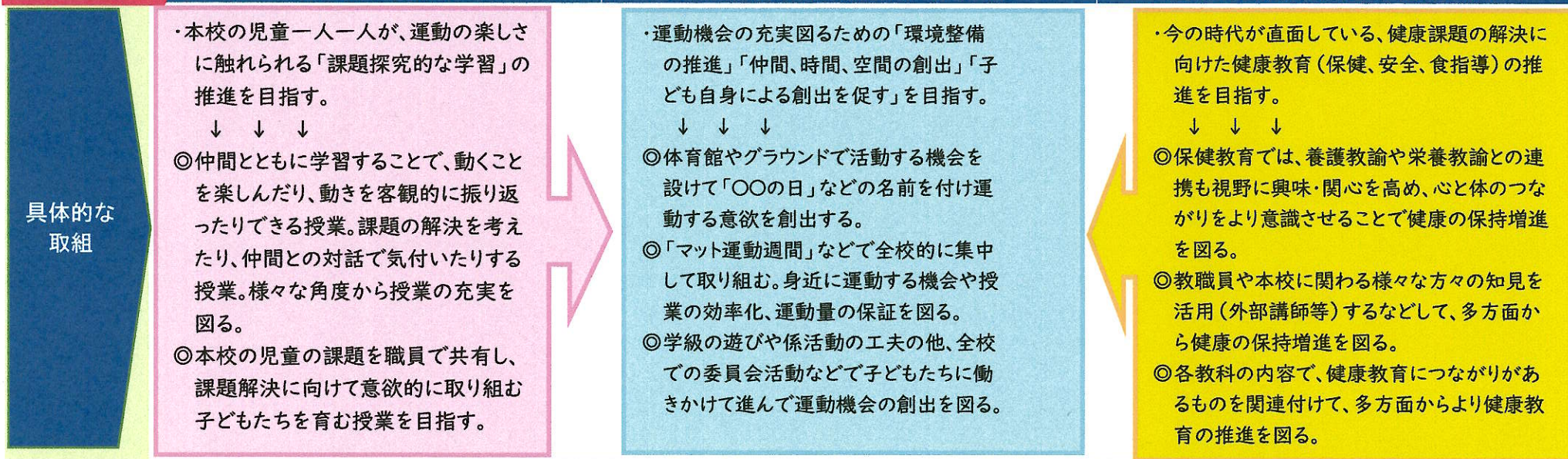
令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23009

学校名：中沼小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	△全国・札幌市の平均と同程度か上回った種目 ・握力 ・長座体前屈 ・50m走	▼全国・札幌市の平均より下回った種目 ・上体起こし ・反復横跳び ・ソフトボール投げ ・20mシャトルラン ・立ち幅跳び ・ソフトボール投げ	・「運動やスポーツが好き」「体育の授業は楽しい」と思う子どもは多く、体育の授業以外の総運動時間もある程度確保している。総じて、運動に対する意欲や関心付けと、実際の活動の保証により、健やかな体を育成できる素地はある。
体力・運動能力 <女子>	△全国・札幌市の平均と同程度か上回った種目 ・握力 ・長座体前屈 ・50m走 ・20mシャトルラン ・ソフトボール投げ	▼全国・札幌市の記録より下回った種目 ・立ち幅跳び ・上体起こし ・反復横とび	・体力・運動能力の結果を見ると、平均を下回った種目が特に男子に多く、「好き、楽しい、体を動かしている」という面が、能力向上と結びついていない現実がある。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	・「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」と回答する子どもの割合 R6 男子:93%、女子:75%、R7 男子:89%、女子:87%		・体育の授業を除く一週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動しない子ども」の割合 R6もR7も平均を下回り、運動する子どもはある程度いる。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------



家庭・地域との連携・協働

- ・校内での学習内容や取り組みなどを情報発信（各種お便り、懇談、ホームページなどで）することで、家庭と地域への連携に努める。
- ・保健指導や食指導、各教科の関連学習などで学習したことを、家庭でも継続実践できるようにする。学習の記録（カードなど）を持ち帰り学校と家庭の連携、学校生活以外でも実践をすることで、継続した「運動機会」「健康の保持増進」を図る。